



2022年度大学院地域生活支援学専攻教員の横顔紹介

坂田 周一 (さかた しゅういち)

1 所属

生活支援科学研究科
地域生活支援学専攻
特任教授



2 授業担当科目

博士前期課程「特別研究」
博士後期課程「健康福祉学原理」
「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」



5 職歴

1979年長野大学専任講師就任。以後、東京都老人総合研究所研究員、日本社会事業大学助教授、駒澤大学教授、立教大学教授、西九州大学教授を経て、2022年より現職。

3 学歴

立正大学大学院社会学専攻
博士後期課程単位取得退学 (1979)

4 学位

博士(社会福祉学・東洋大学) (2003)

6 研究活動

社会福祉政策論を専攻しています。社会福祉の制度・政策の原理的課題の検討のほか、行財政的側面からの分析を行っています。あわせて、高齢者福祉分野についての応用研究も行っています。また、第二次世界大戦後に成立した福祉国家がその後、どのように変容し多様化したかという課題についても研究しています。

7 研究テーマ

現在、科学研究費補助金採択研究である、「OECD社会支出データベースの分析による福祉財政の長期的変動に関する国際比較研究」に取り組んでいます。

8 教育活動

作成した教科書として、『社会福祉政策』(有斐閣)、『コミュニティ福祉学入門』(有斐閣)、『コミュニティ政策学入門』(誠信書房)、『はじめて学ぶ人のための社会福祉』(誠信書房)などがあります。

9 社会貢献活動

佐賀県社会福祉審議会委員。
一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理委員会委員。
一般財団法人厚生労働統計協会評議員など。

10 【私の人生の、あぁミゼラブル体験からの脱出】

大学院博士課程院生だった1978年のこと。研究題目が決まりデータも集めていましたがPCがない時代で大型コンピュータでしか多変量解析ができず苦労しました。やっとの思いで論文を完成し翌年には就職も決まり、嬉しかったです。

11 【大学人として受験生へのメッセージ】

「真理はあなたがたを自由にする」という言葉があります。もともとはイエスの言葉であり宗教的意味をしていますが、学問にも当てはまると思います。学問によって真理を明らかにすることで、因習や偏見から解放され、精神が自由になると言えるからです。



連絡先 e-mail:sakatashu@nisikyu-u.ac.jp

